

GPNET

opt-23A

opt-23A+

取扱説明書

株式会社
ネットワークサプライ

■ opt-23A・23A+ 概要説明

opt-23A・23A+は、EIA RS232C 非同期信号を光信号に変換し、光ファイバーケーブルを使用して工場構内などで長距離を高速-高品質にデータ通信するための光通信アダプターです。送信、受信それぞれ 4 本の信号を DC~64Kbps の伝送レートで全二重通信する能力があり、高速デジタル通信に対応します。

光ファイバーケーブルは本質的に誘導、静電気、雷サージなどのノイズにまったく影響されない高品質なデータ通信を保障しシステムに対する信頼性を著しく高めます。opt-23A・23A+は 20cm~1,3Km までの距離を中継なしで 10 のマイナス 9 乗以下の誤り率の高品質通信を実現します。

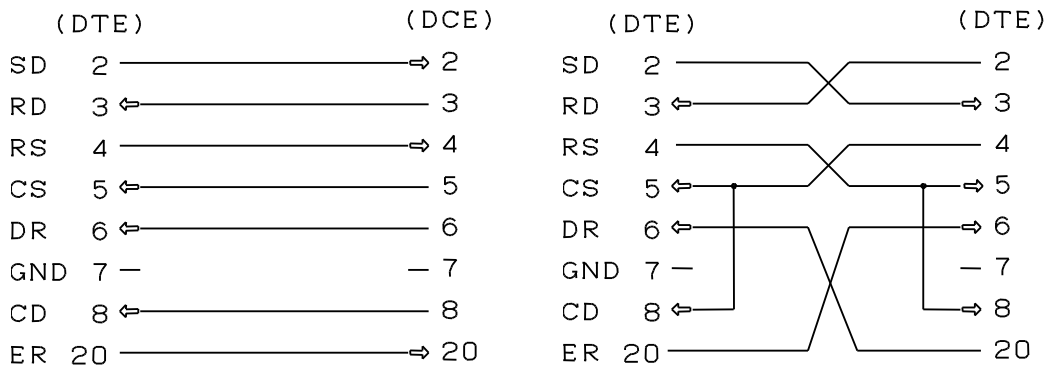
- opt-23A+は、opt-23A の性能に加えセラミックパッケージの TODX280 光リンクを搭載し、寿命性能を向上したモデルです。

■ ピンアサイメント

opt-23A・23A+は工場出荷時にユーザの指定によるピンアサイメントが可能です。次に標準的なアサイメントを説明します。

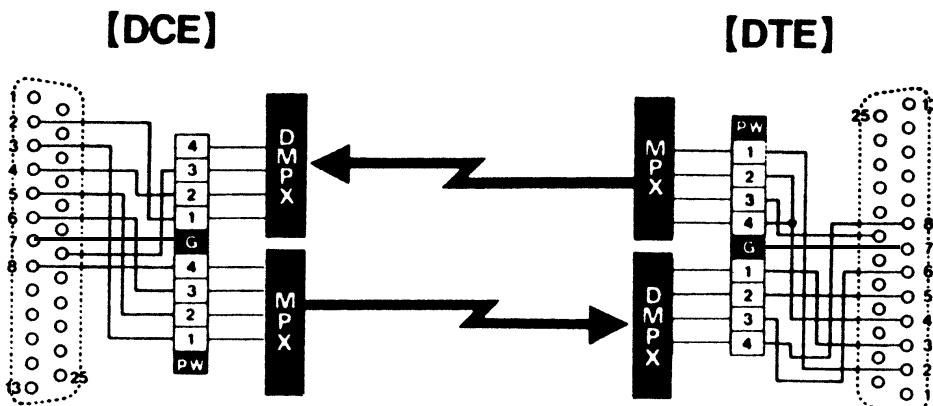
● opt-23A・23A+ 標準仕様の(DTE-DCE) と (DTE-DTE)

多重伝送方式の特徴を活かしおのおののピンの信号をそのまま相手側に伝送し、多芯の RS232C ケーブルと等価の働きをする、エクステンダータイプの光モデムで DTE 側と DCE 側の 2 種類の組合せで構成されます。



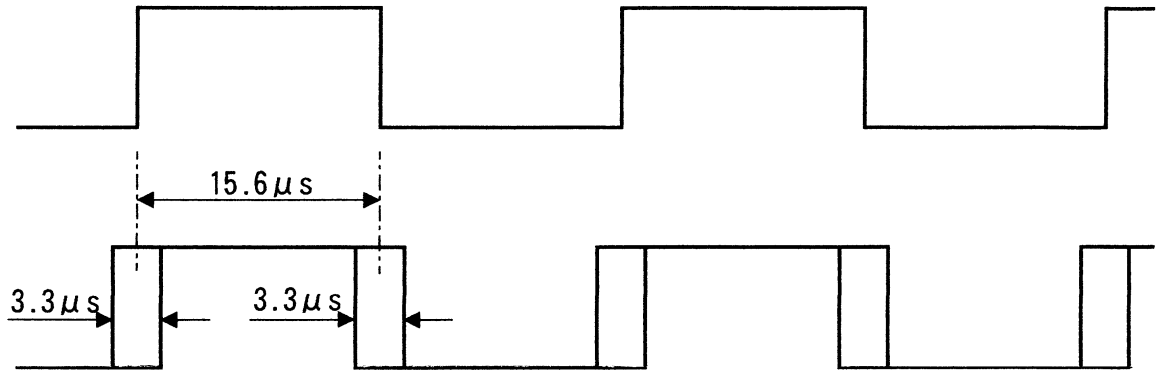
■ 内部接続図

下図は opt-23A・23A+の回路と DTE-DCE の接続を示しています。



■ タイミング特性について

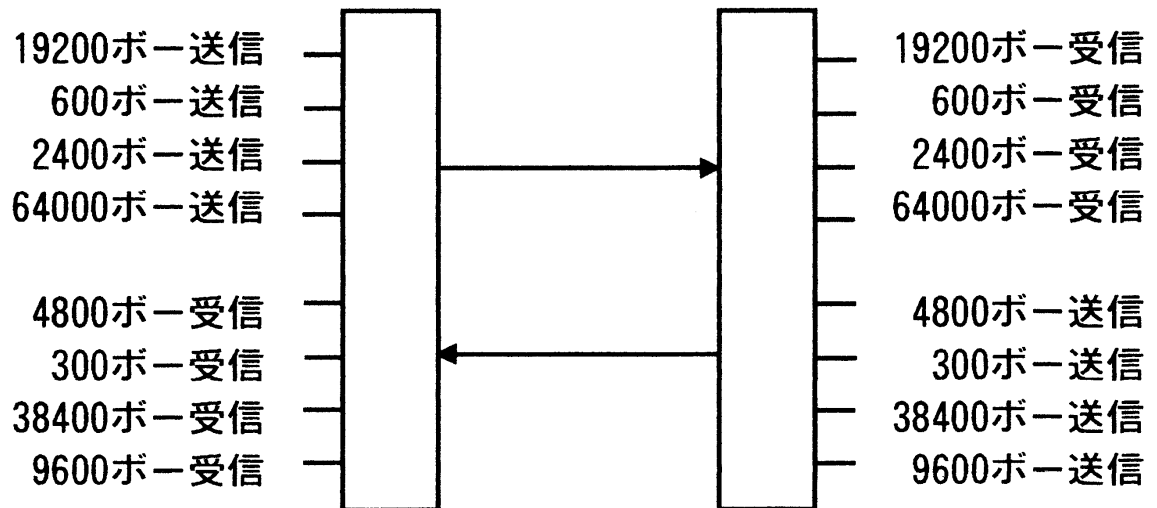
opt-23A・23A+は時分割方式により同一信号を 600KHz で多重化し、さらに連送照合しています。このために同一信号にたいして実質的には 300KHz でサンプリングしていることとなります。64Kbps の入出力信号と出力信号の歪は次の図のようになります。



64Kbps の入出力にたいして opt-23A・23A+は±12%以内の歪率で出力信号を再生します。これはデューティ 50%の連続した信号の立上り、立下りを規準にしたもので累積されません。一般的な UART は通常±15~18%程度の歪率は許容しますので 64Kbps の信号にたいして十分なマージンが確保されます。

■ 伝送レートについて

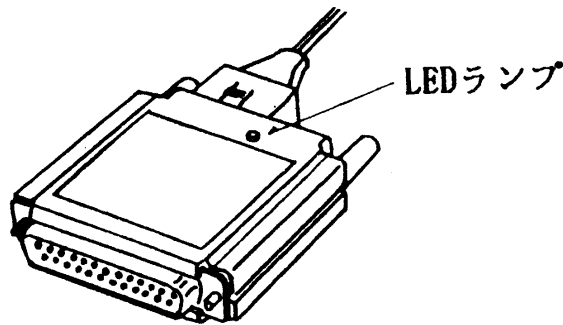
opt-23A・23A+は送信 4・受信 4 の 8 本のラインが各々 DC~64Kbps の信号を伝送する能力があります。このことは、下図のように複数のボーレートの異なる信号を互いに影響しあうことなく同時伝送できることを意味します。



■ エラーリカバリーについて

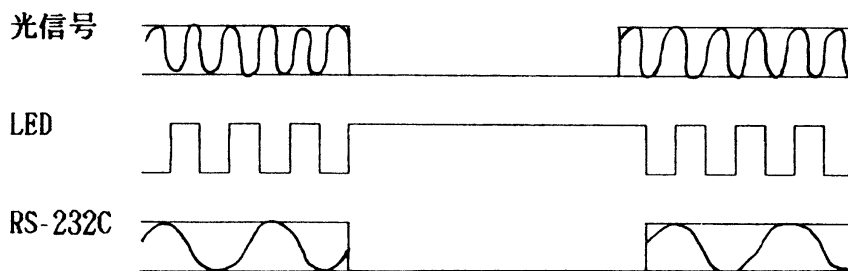
opt-23A・23A+は、一般的なスタートビット検出方式によるフレーム同期ではなく、連送照合とフレームパターン検出などによる3重の同期検出方式により同期しています。この方式は全信号にたいする実信号の伝送効率は40%で、スタートビット検出方式と比較すると20%~30%程度効率は劣ります。しかし伝送エラーが発生した場合、スタートビット検出方式は再同期するのに相当の時間を必要とし、しばらくは不定状態が続くのに対してopt-23A・23A+の方式は次のフレームで確実に同期しますので伝送品質に関しては、この方式が圧倒的に有利です。また、たとえ伝送エラーが発生してもデータ更新せずに前の状態を保持しており、最悪でもパルス幅が $3.3\mu\text{s}$ 歪むだけです。これは19200ボートのRS232C伝送の場合でも7%の影響しか与えませんから、光伝送の1回程度のエラーではRS232C信号がエラーになることはありません。つまりopt-23A・23A+の同期方式は一種のノイズフィルターとしての機能を構造的に備えていることとなります。

■ LED モニターランプについて



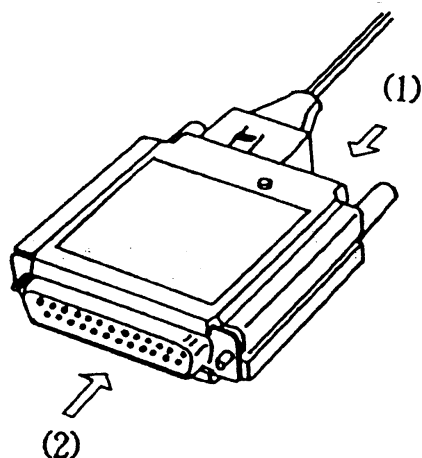
上図のように上ケースの後部にLEDランプがあります。通電と同時に赤く点灯し、光ケーブルから信号が入ると同時に約1秒間に5回の間隔で点滅します。opt-23A・23A+の受信同期回路と同期しており、光ケーブルから信号が途絶えたり連続エラーが発生すると再び点き放しの状態になり、RS232CドライバーをALL Lowにします。

再び、光ケーブルから信号が入るとまた点滅を開始しRS232Cドライバー回路に信号を出力します。



■ 電源を供給する場合の注意事項

opt-23A・23A+に電源を供給する際、次の点にご注意下さい。



(1) モデム後部の DC ジャックから電源を供給する方法。

専用アダプター(SFN-830)を使用して下さい。

DC ジャックに DC+5V を供給した場合内部のレギュレータの電圧降下により opt-23A・23A+は動作しません。

(2) RS232C コネクターピンから DC+5V を供給する場合。

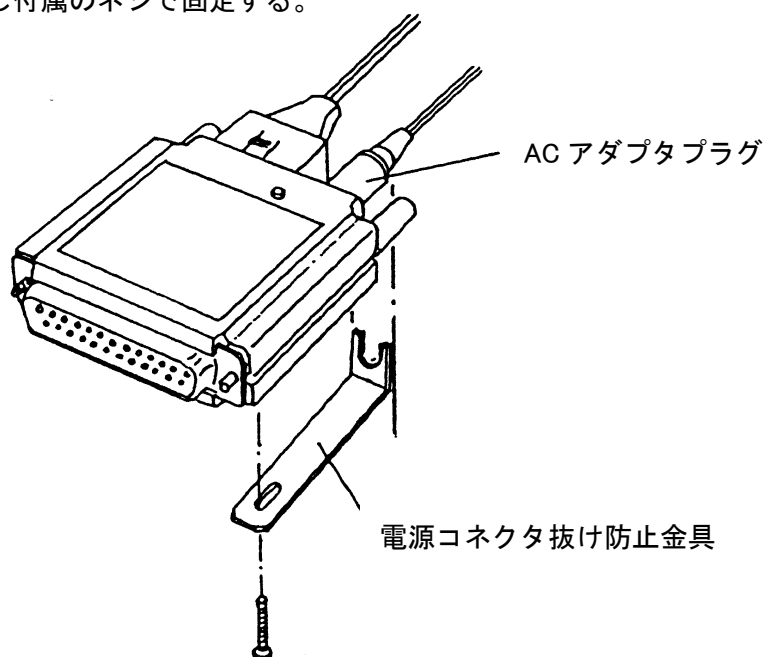
(ご注文時の指定ピンになります。)

■ 電源コネクター固定金具(オプション)

opt-23A・23A+へ AC アダプターより電源供給する際、AC アダプターの DC 側プラグが抜けることを防止するために、下図の金具がオプションとして用意されています。

取り付け方法は次のとおりです。

- ① モデムの DC ジャック側底面のネジを外す。
- ② AC アダプタプラグを差し込む。
- ③ 抜け防止金具をセットし付属のネジで固定する。



GPNET opt-23A・23A+製品仕様

| | | |
|---------|---|----------------|
| 通信方式 | EIA RS232C レベルの信号を時分割多重方式により送信 4 受信 4 する 全二重通信方式 | |
| 通信回線 | 光ファイバーケーブルによる構内回線 | |
| 適合光コネクタ | JIS F07 規格 | |
| 適合ケーブル | ポリマークラッド石英ファイバー(PCF) | 標準仕様 |
| | プラスチックファイバー(APF) | opt-23A のみ指定仕様 |
| 通信距離 | PCF 0~500m | 標準仕様 |
| | PCF 501~1000m | 指定仕様 |
| | APF 0~15m | opt-23A のみ指定仕様 |
| | APF 16~30m | opt-23A のみ指定仕様 |
| | APF 31~50m | opt-23A のみ指定仕様 |
| 通信機能 | 非同期方式 DC~64Kbps フリーレート 信号レベル EIA RS232C レベル -12V~+12V | |
| 信号歪み | 64Kbps 時において±15%以内 | |
| 動作環境 | 温度 | -20°C~+70°C |
| | 湿度 | 90%以内(結露無きこと) |
| 保存環境 | 温度 | -40°C~+85°C |
| | 湿度 | 90%以内(結露無きこと) |
| 消費電流 | DC5V 150mA(TYP) 170mA(MAX) | |
| 電 源 | DC ジャック側 専用 AC アダプター(SFN-830) 非安定 RS232C コネクタ側 5V±0.25V 150mA(TYP) 安定化 | |
| 外形寸法 | 幅 54mm×高 16mm×奥 53mm (突起物を除く) | |
| 重量 | 45 g | |

